

同窓会が進む道



県立広島大学同窓会 会長

北村 富美子

(女大6生)

同窓会会員の皆さま、二〇二六年をいかがお過ごしでしょうか。日頃の同窓会活動へのご理解とご協力で心から感謝申し上げます。

二〇二五年の同窓会活動についてご報告いたします。まず第二十一回総会・懇親会が、六月十五日(日)ヒルトン広島で開催され、百七十三名の同窓生の参加がありました。コロナ感染症の影響がまだ残っているのでしょうか、参加してくださる同窓生の人数が減少しております。参加者が増えるための手立てを考えていかねばならないと思っております。総会では提案させて頂いた全ての議案をご承認いただきました。退任されました理事、監事の皆さまにはご尽力いただきましたこと感謝申し上げます。また、新しく理事、監事に就任されました皆さまとこれから共にお仕事ができますことを楽しみにしております。

さて、総会・懇親会のご案内と同封

の年会費の納入につきまして、振込料は同窓会負担となっておりますが、郵送料の大幅な値上げなど必要経費がかさむ中、同窓生の皆さまにご負担いただくことになりました。ご理解、ご協力をお願いいたします。

講演は、長く同窓会活動にご尽力いただいております河田和子顧問に「未来に繋ぐ同窓会への思い」という演題で紫水会会長を務められた頃のお話、三大学同窓会統合の経緯、県立広島大学同窓会初代会長としての思いなど、二十分という短い時間の中で熱く語っていただきました。同窓会の長い歴史を未来の同窓生に繋いでいく責任を改めて感じました。その後は、初めての試みとなる三キャンパスの学生による発表がありました。それぞれのキャンパスの学びの特徴がわかる中身の濃い発表でした。アンケートでも学生発表への満足度はきわめて高く、今後も継続していきたいと思えます。

懇親会では、卒業後も活動をされているフラウエンコール紫水による女声合唱、懐かしい曲のメドレーと素敵なお話、ハーマニーが会場一杯に広がりました。そして、広島キャンパスのハワイ文化研究会「Punalu'e」によるフラダンス。軽やかでしなやかな動きが始まると会場がハワイの雰囲気になりました。手の使い方などを習い、一緒にフラダンスの動きを楽しみました。懇親会が成功裏に終わりましたのも実行委員の皆さまのお力添えのお陰と心より感謝申し上げます。

総会前日には支部長会を広島キャンパスで開き、活発な意見交換が行われました。各支部とも支部会参加の同窓生の固定化があり、新しい参加者をいかに増やしていくか、また、役員の選出も課題となっております。私は支部会活動こそが同窓会の基盤だと考えております。同窓生の皆さま、どうぞ、お住まいの支部会にふるってご参加ください。昨年は七月に愛媛支部会に参加、懐かしい寮生活のお話を伺いました。九月は三原支部会に参加、三原キャンパスの先生のご講演を皆さんと一緒に聞く機会を頂きました。同じく九月、久し振りに開催されました山口支部会に参加、「同窓会に出席すると懐かしく、楽しい」とのお声を嬉しく伺いました。また、長く活動がなかった東海支部の再開に少し光が見えてきました。準会員である学生への支援としては、卒業式・入学式での記念品、三キャンパスで開催された大学祭への支援、昨

年度増額をした学生食堂でのランチ代支援は好評のうちに終了しました。各大学祭には同窓会から役員、理事が参加、学生達との交流をはかりました。十一月末には三キャンパス合同のスポート大会が豊平総合運動公園で開催され、この大会にもパンの支援を行いました。

「第二期考える会」では、年会費納入が伸び悩む中、新たに会報への広告掲載を実施する方向で理事会に提案、承認されました。会報二十一号には多くの協力を得ることができました。心より感謝申し上げます。今後も継続してまいりたいと思っております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

来たる六月十四日(日)には同窓会総会・懇親会をANAクラウンプラザホテル広島にて開催することになっております。会場の変更は、多くの同窓生の皆さまに参加していただけるように費用面での改善を考えたものです。昨年の懇親会は私の卒業期が当番幹事でしたので、同期会として懇親会の場合を活用させていただきました。皆さんもどうぞ懇親会をお友達やクラス会に活用してください。多くの方にご出席いただき、楽しい会になりますことを願っております。

最後になりましたが、大学のホームページから同窓会のページへリンクできるようになっています。是非、開いて記事に目を通してみてください。新年度もどうぞご支援のほどよろしくお願いたします。